

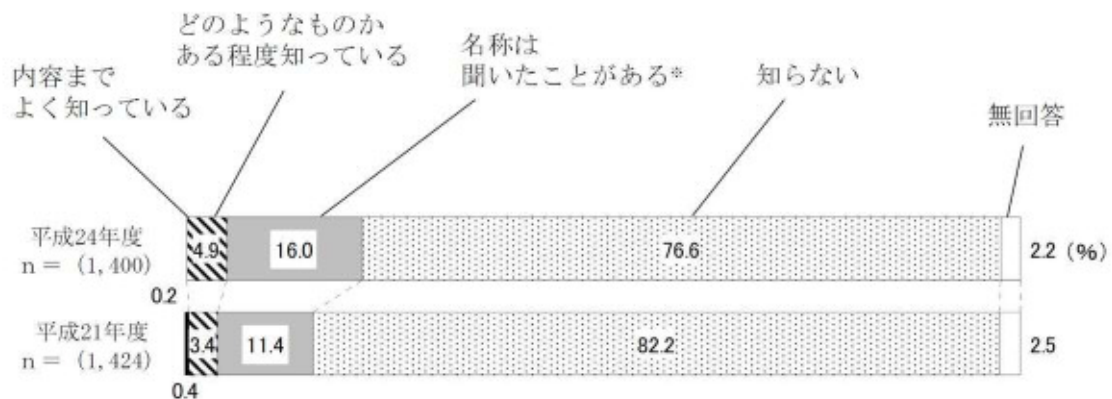
5 川崎市自治基本条例について

5-1 川崎市自治基本条例の認知度

◎認知度は3年前（平成21年度）より5.6ポイント増加

問10 「川崎市自治基本条例」を知っていますか。（○は1つだけ）

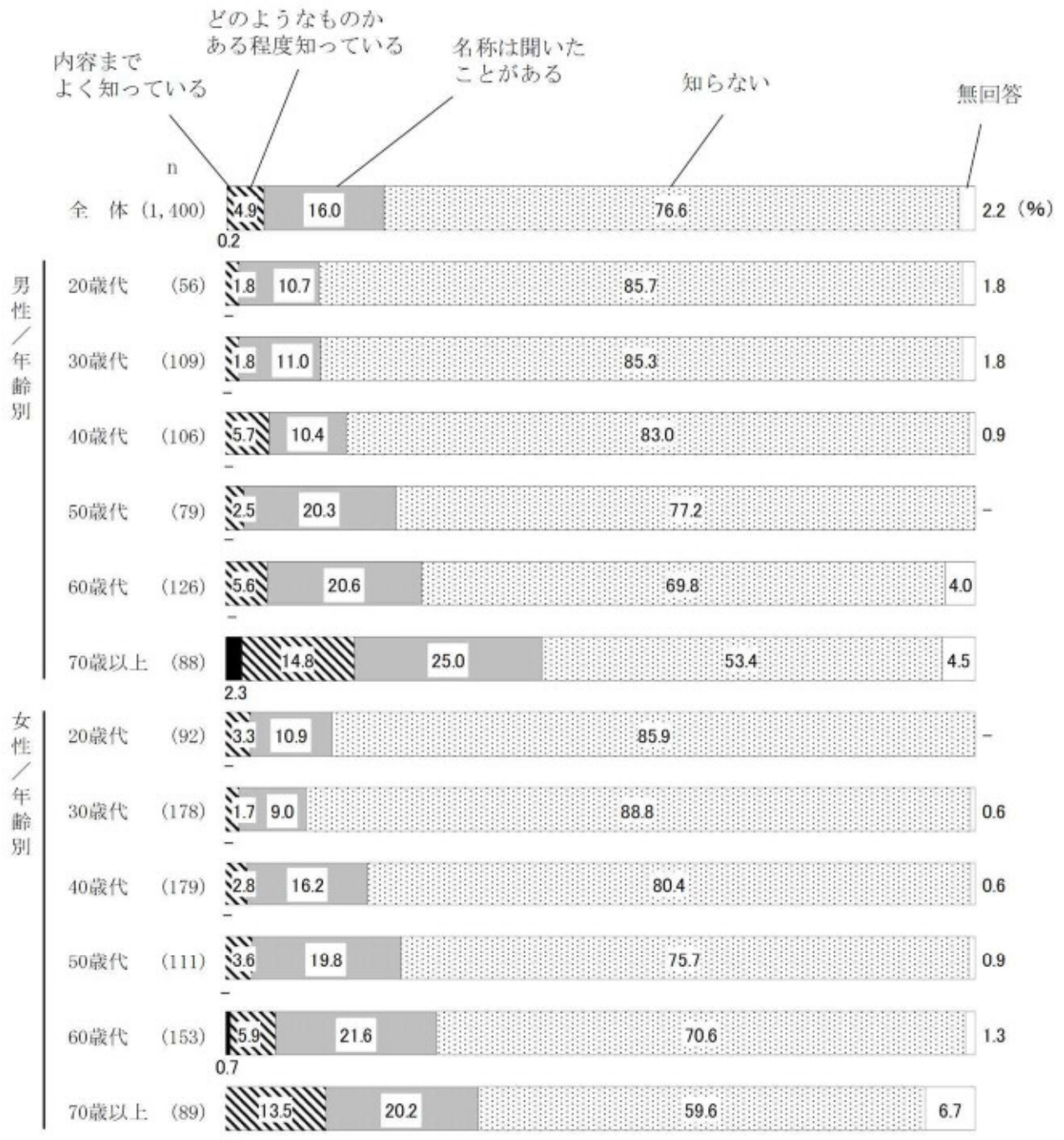
図表5-1 川崎市自治基本条例の認知度



※平成21年度調査では、「名称は知っている」という選択肢表記であった。

川崎市自治基本条例の認知状況については、「知らない」(76.6%)が7割を超えているものの、3年前（平成21年度）と比較してみると5.6ポイント減少しており、認知度は増加している。なお、「名称は聞いたことがある」は16.0%、「どのようなものかある程度知っている」は4.9%、「内容までよく知っている」は0.2%となっている。（図表5-1）

図表5-2 川崎市自治基本条例の認知度（性／年齢別）



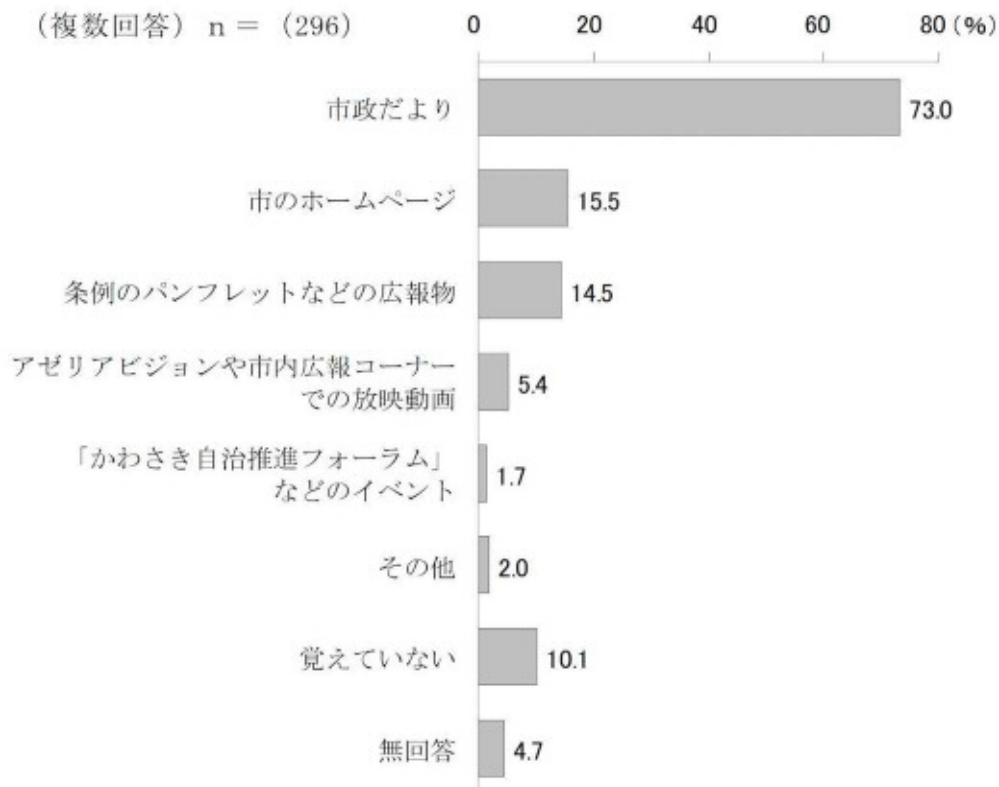
性／年齢別では、「知らない」は20～40歳代で8割を超えている。なお、認知度はおおむね年齢が高くなるにつれ割合が多くなる傾向となっている。「名称は聞いたことがある」は、男性では50歳代～70歳以上、女性では60歳代・70歳以上で2割を超えている。「どのようなものかある程度知っている」は、男女ともに70歳以上が最も多くなっている。(図表5-2)

5-2 川崎市自治基本条例の認知媒体

◎「市政だより」が73.0%

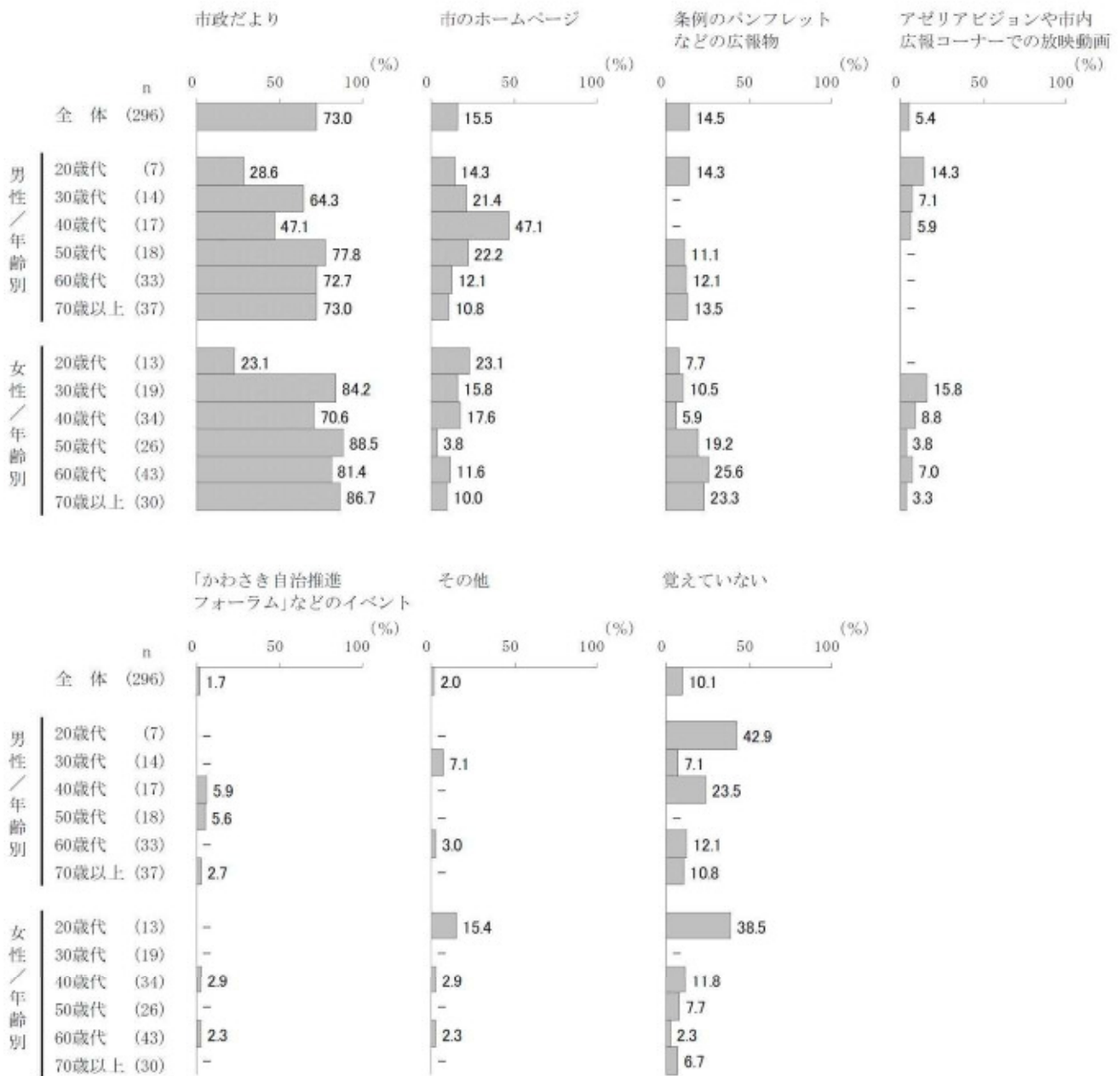
問10-1 (問10で「1 内容までよく知っている」「2 どのようなものかある程度知っている」「3 名称は聞いたことがある」と回答した方にうかがいます。)
「川崎市自治基本条例」をどのように知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

図表5-3 川崎市自治基本条例の認知媒体



川崎市自治基本条例の認知媒体は、「市政だより」(73.0%)が7割を超え最も多くなっている。「市のホームページ」(15.5%)、「条例のパンフレットなどの広報物」(14.5%)は、1割台半ばとなっている。(図表5-3)

図表5-4 川崎市自治基本条例の認知媒体（性／年齢別）



性／年齢別では、基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。(図表5-4)

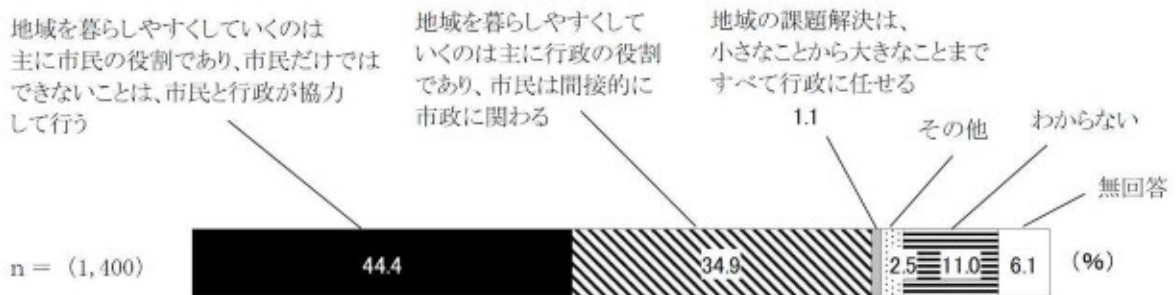
5-3 地域の課題解決のために望ましい公共的な役割の在り方

◎「主に市民の役割であり、市民だけではできないことは、市民と行政が協力して行う」が44.4%

問 11 自治基本条例では、暮らしやすい地域社会をつくるため、市民と市が情報共有・参加・協働*という3つの基本原則に基づき、自治を運営していくことを定めています。地域の課題を解決していくにあたり、今後の公共的な役割の在り方としてどのような形が望ましいと思いますか。(○は1つだけ)

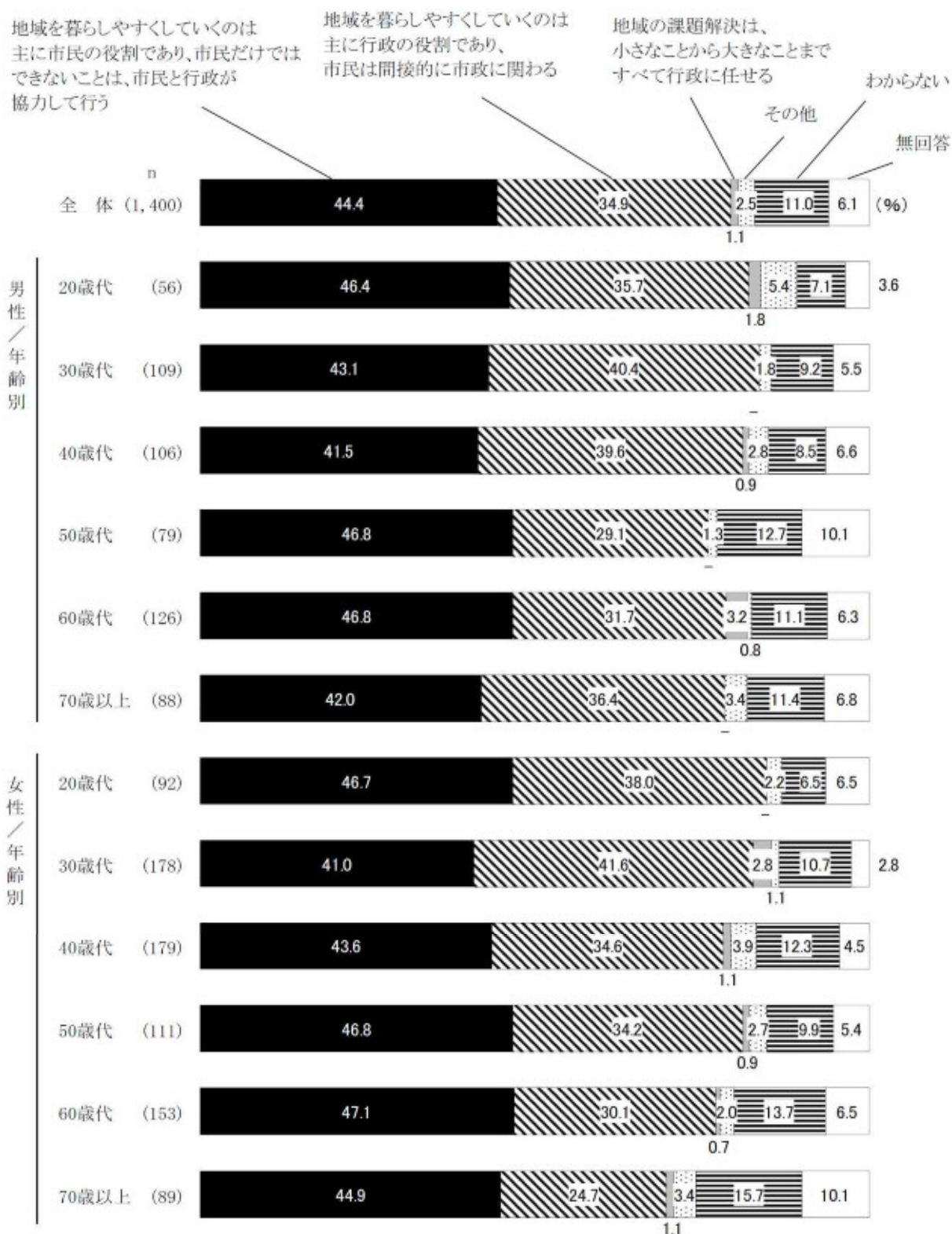
*協働：市民及び市が、共通の目的を実現するために、それぞれの役割と責任の下で、相互の立場を尊重し、対等な関係に立って協力すること

図表 5-5 地域の課題解決のために望ましい公共的な役割の在り方



地域の課題を解決していくにあたり、今後の公共的な役割の在り方としてどのような形が望ましいと思うか聞いたところ、「地域を暮らしやすくしていくのは主に市民の役割であり、市民だけではできないことは、市民と行政が協力して行う」(44.4%)が4割台半ばで最も多くなっている。「地域を暮らしやすくしていくのは主に行政の役割であり、市民は間接的に市政に関わる」(34.9%)は、3割台半ばとなっている。「地域の課題解決は、小さなことから大きなことまですべて行政に任せる」(1.1%)はわずかとなっている。(図表5-5)

図表 5-6 地域の課題解決のために望ましい公共的な役割の在り方（性／年齢別）



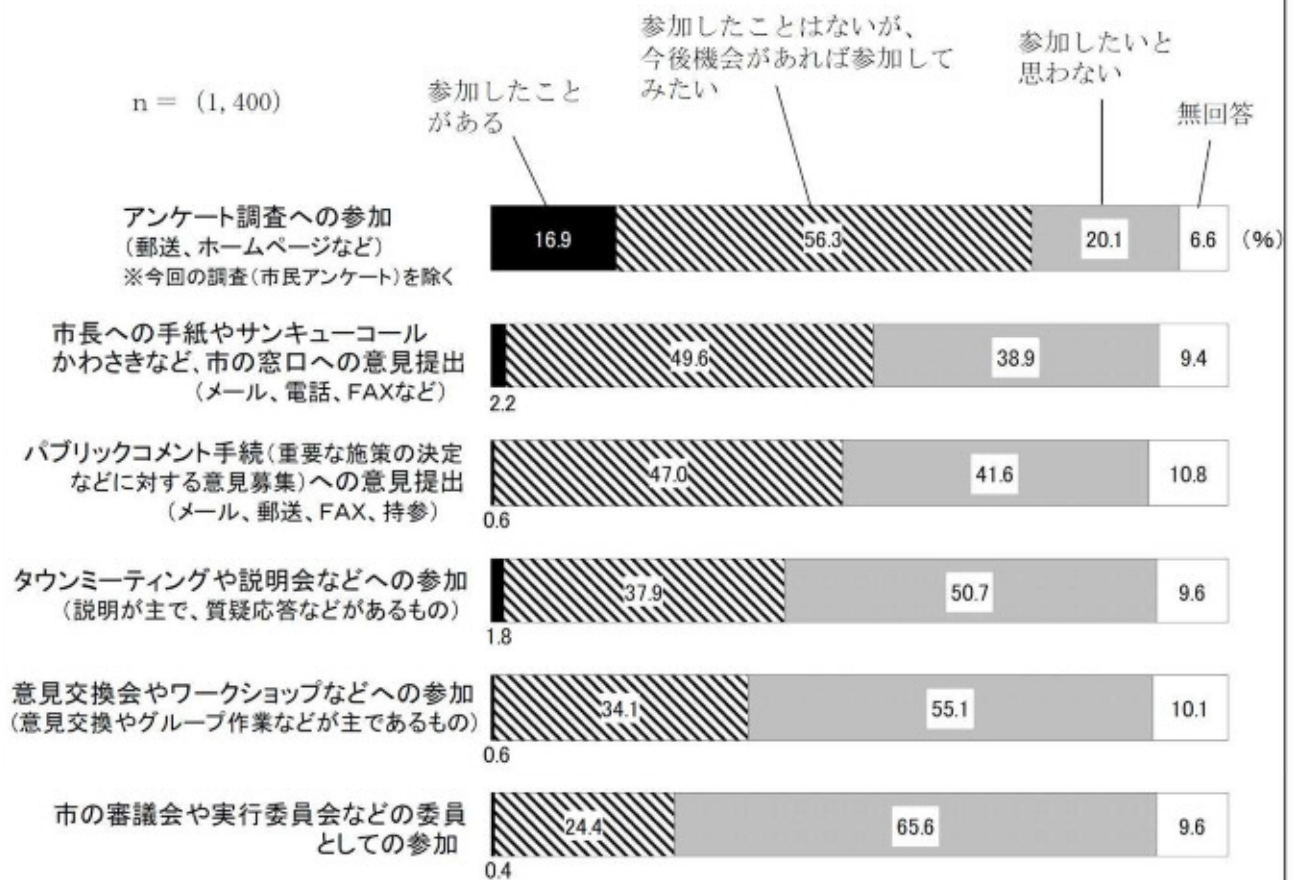
性／年齢別では、女性 30 歳代を除くすべての属性で、「地域を暮らしやすくしていくのは主に市民の役割であり、市民だけではできないことは、市民と行政が協力して行う」が「地域を暮らしやすくしていくのは主に行政の役割であり、市民は間接的に市政に関わる」を上回っている。（図表 5-6）

5-4 市政参加の方法

◎「参加したことがある」は<アンケート調査への参加>が16.9%で最も多い

問12 市では、計画や条例、制度、施設をつくるときなどに市民の意見を聴く機会や行政の考えを説明する機会を設けているほか、市政一般に対する問い合わせや意見、提案を受け付ける仕組みを設けています。あなたは、どのような方法で参加したことがありますか。また、今後参加してみたいと思いますか。①～⑥のそれぞれについて、1～3のあてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

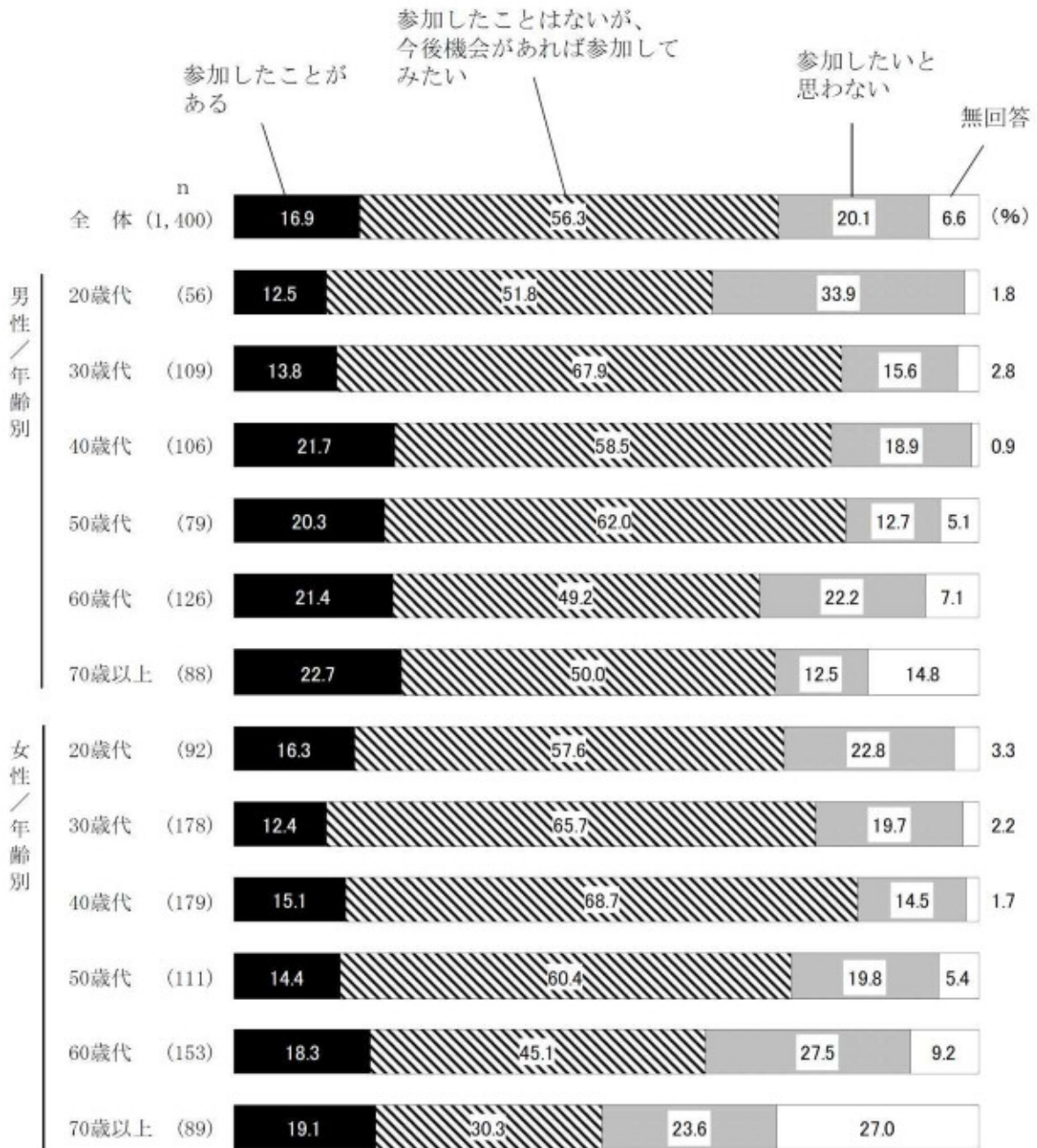
図表5-7 市政参加の方法



市政参加の方法については、「参加したことがある」は、<アンケート調査への参加> (16.9%) 以外の項目はいずれもわずかとなっている。「参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい」は、<アンケート調査への参加> (56.3%) が5割台半ばで最も多く、次いで<市長への手紙やサンキューコールかわさきなど、市の窓口への意見提出> (49.6%)、<パブリックコメント手続への意見提出> (47.0%) の順となっている。(図表5-7)

図表 5-8 市政参加の方法（性／年齢別）

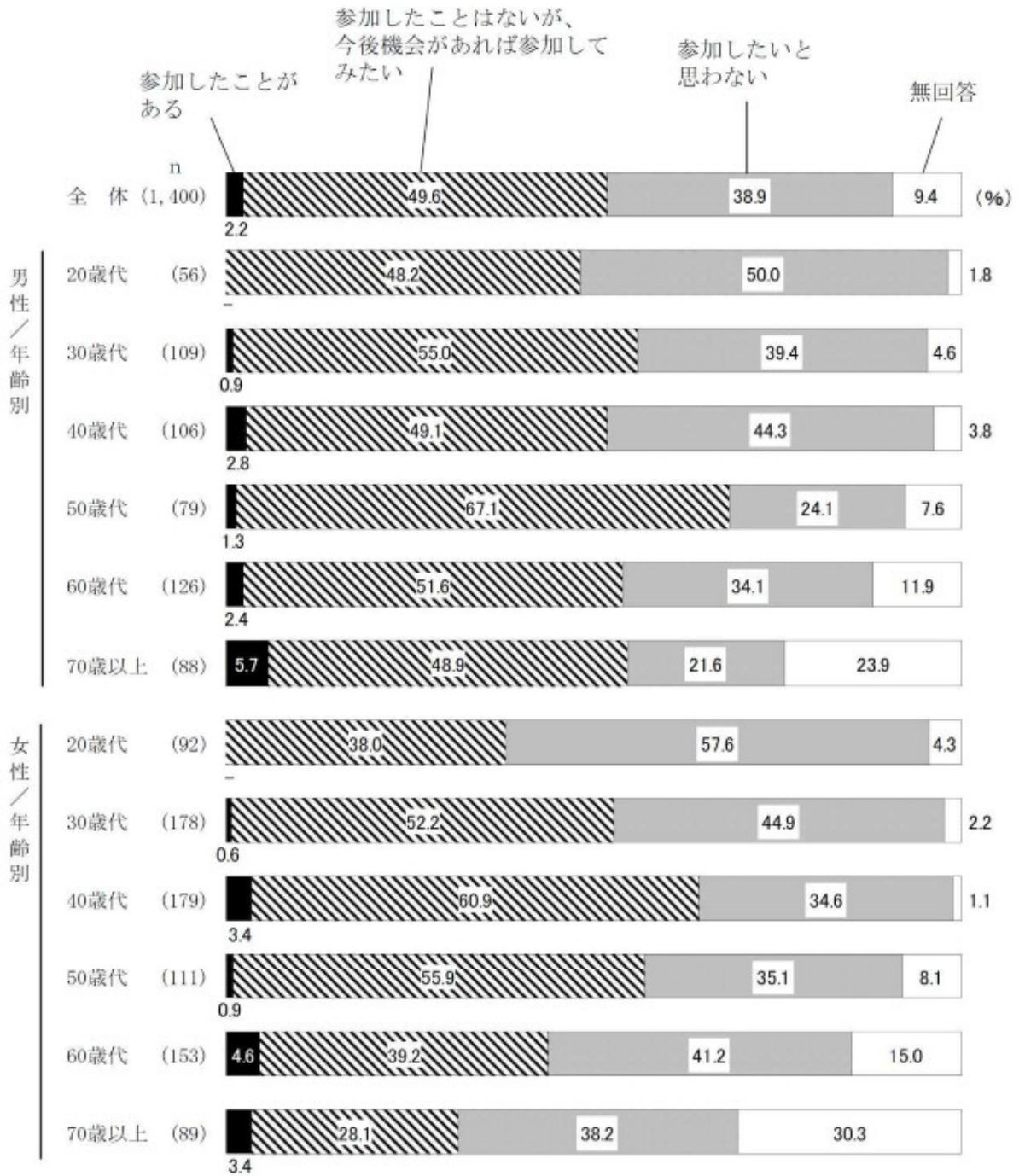
【アンケート調査への参加（郵送、ホームページなど）】※今回の調査（市民アンケート）を除く



＜アンケート調査への参加＞について、性／年齢別では、「参加したことがある」は男性の40歳代～70歳以上が2割を超えている。「参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい」は、女性40歳代（68.7%）が最も多くなっており、次いで男性30歳代（67.9%）となっている。「参加したいと思わない」は、男性20歳代（33.9%）が唯一3割を超えている。（図表5-8）

図表 5-9 市政参加の方法（性／年齢別）

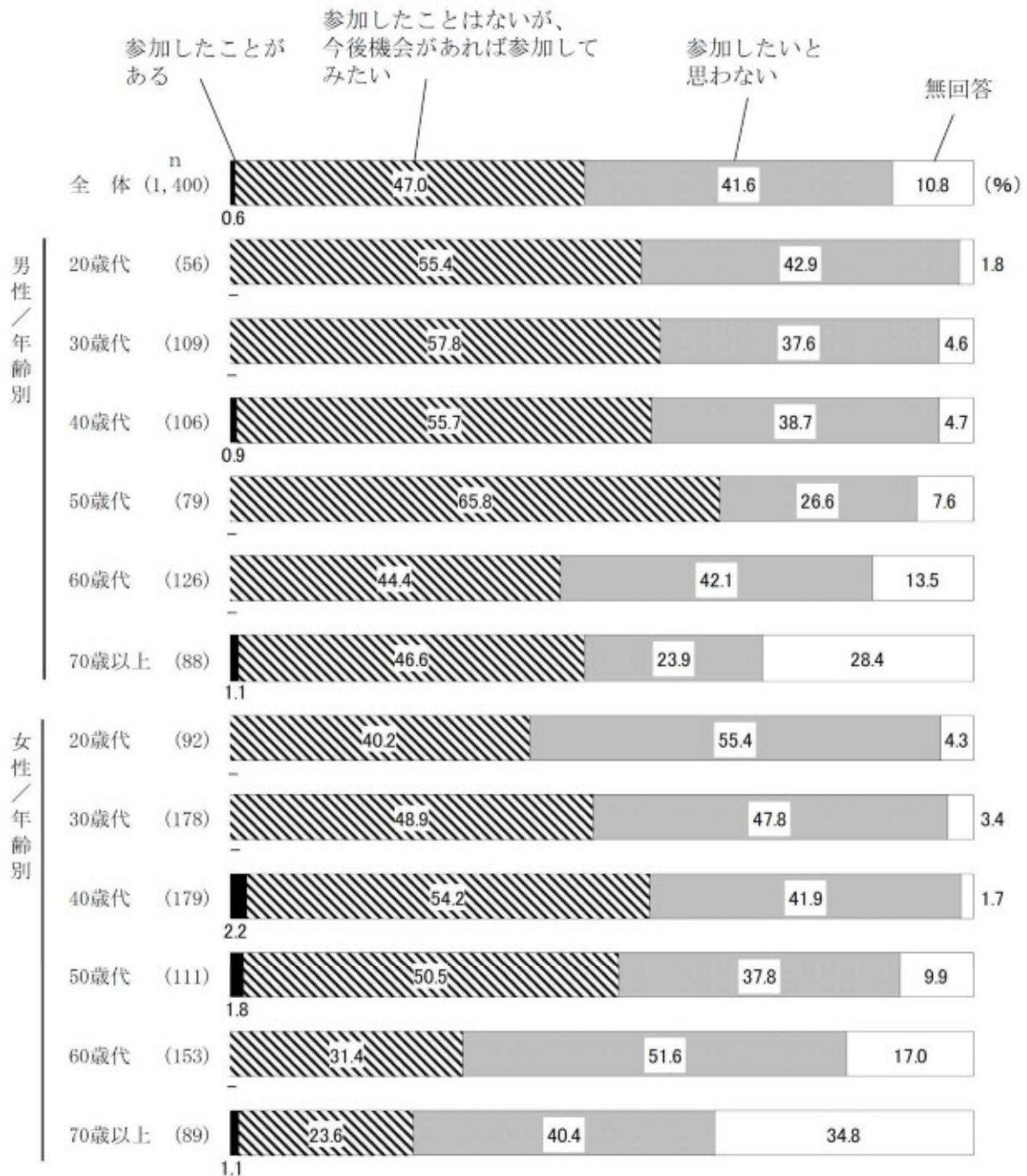
【市長への手紙やサンキューコールかわさきなど、市の窓口への意見提出（メール、電話、FAXなど）】



＜市長への手紙やサンキューコールかわさきなど、市の窓口への意見提出＞について、性／年齢別では、「参加したことがある」は男性 70 歳以上（5.7%）が最も多くなっている。「参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい」は、男性 50 歳代（67.1%）が最も多くなっている。「参加したいとは思わない」は、男女ともに 20 歳代が 5 割台で最も多くなっている。（図表 5-9）

図表 5-10 市政参加の方法（性／年齢別）

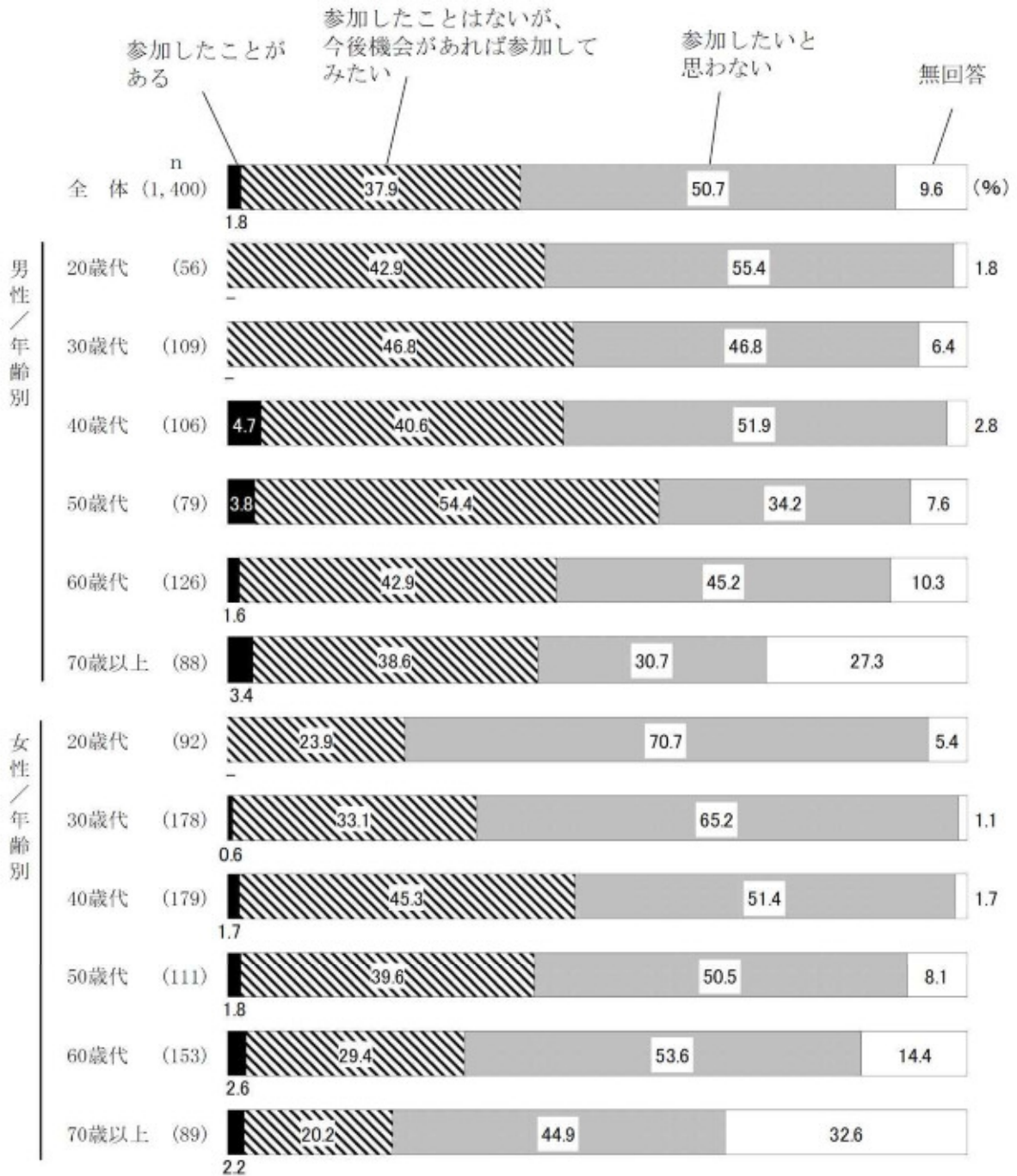
【パブリックコメント手続（重要な施策の決定などに対する意見募集）への意見提出（メール、郵送、FAX、持参）】



＜パブリックコメント手続（重要な施策の決定などに対する意見募集）への意見提出＞について、性／年齢別では、「参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい」はすべての年代で男性が女性より多くなっている。一方、「参加したいと思わない」は女性の方が多くなっている。（図表 5-10）

図表 5-11 市政参加の方法（性／年齢別）

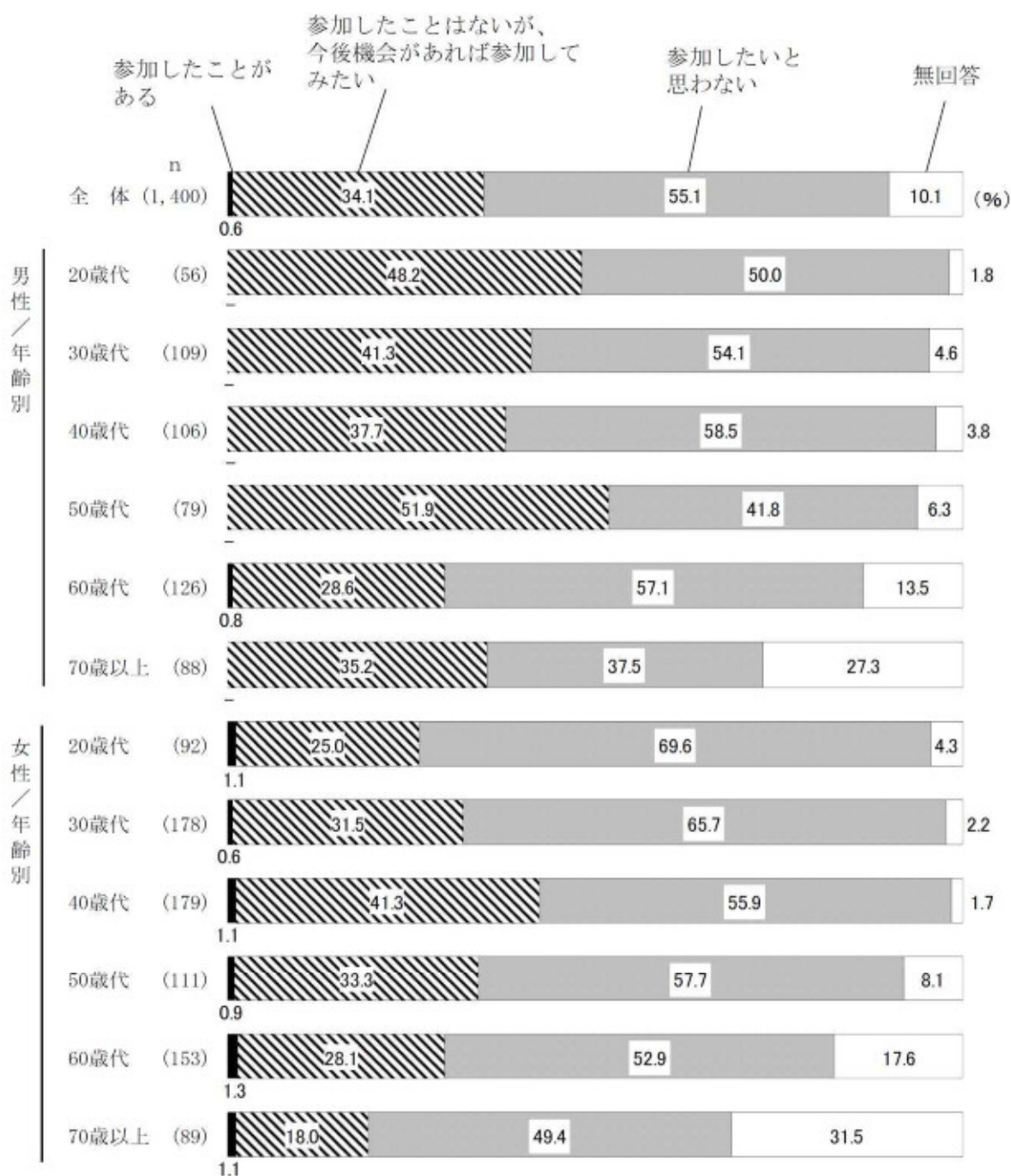
【タウンミーティングや説明会などへの参加（説明が主で、質疑応答などがあるもの）】



＜タウンミーティングや説明会などへの参加＞について、性／年齢別では、「参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい」は男性 50 歳代（54.4%）が最も多くなっている。「参加したいと思わない」は、女性 20 歳代（70.7%）が唯一 7 割を超え最も多くなっている。（図表 5-11）

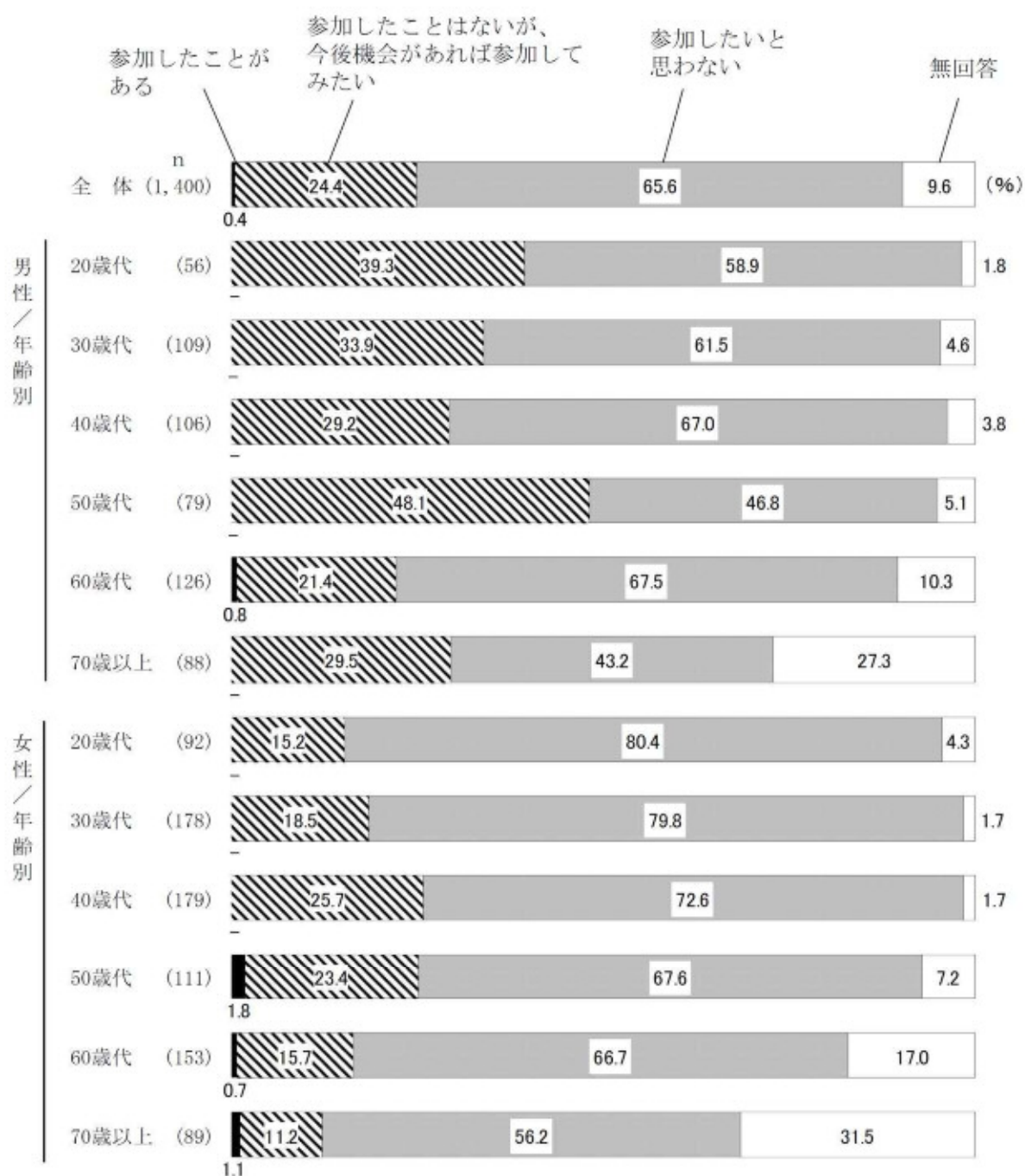
図表 5-12 市政参加の方法（性／年齢別）

【意見交換会やワークショップなどへの参加（意見交換やグループ作業などが主であるもの）】



＜意見交換会やワークショップなどへの参加＞について、性／年齢別では、「参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい」は男性 50 歳代（51.9%）が唯一 5 割を超えている。「参加したいと思わない」は、女性 20～30 歳代が 6 割を超えている。（図表 5-12）

図表 5-13 市政参加の方法（性／年齢別）
 【市の審議会や実行委員会などの委員としての参加】



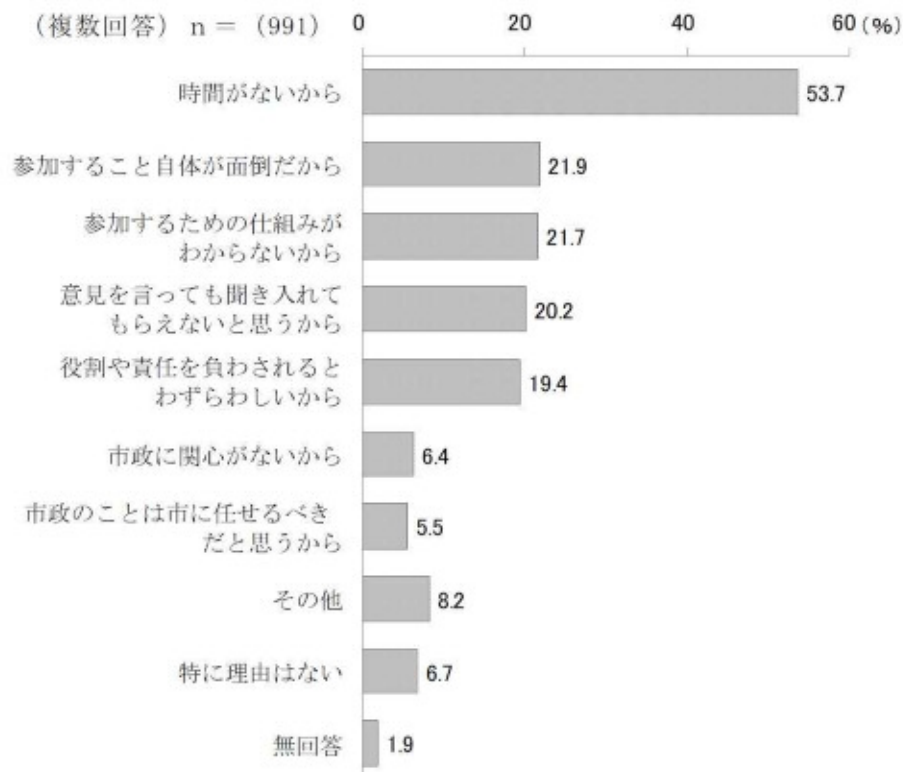
＜市の審議会や実行委員会などの委員としての参加＞について、性／年齢別では、「参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい」はすべての年代で男性が女性より多くなっている。「参加したいと思わない」は、女性 20 歳代（80.4%）が最も多くなっている。（図表 5-13）

5-5 市政に参加したくない理由

◎「時間がないから」が53.7%

問 12-1 (問 12 で、いずれか1つでも「3 参加したいと思わない」と回答した方にうかがいます。)
参加したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

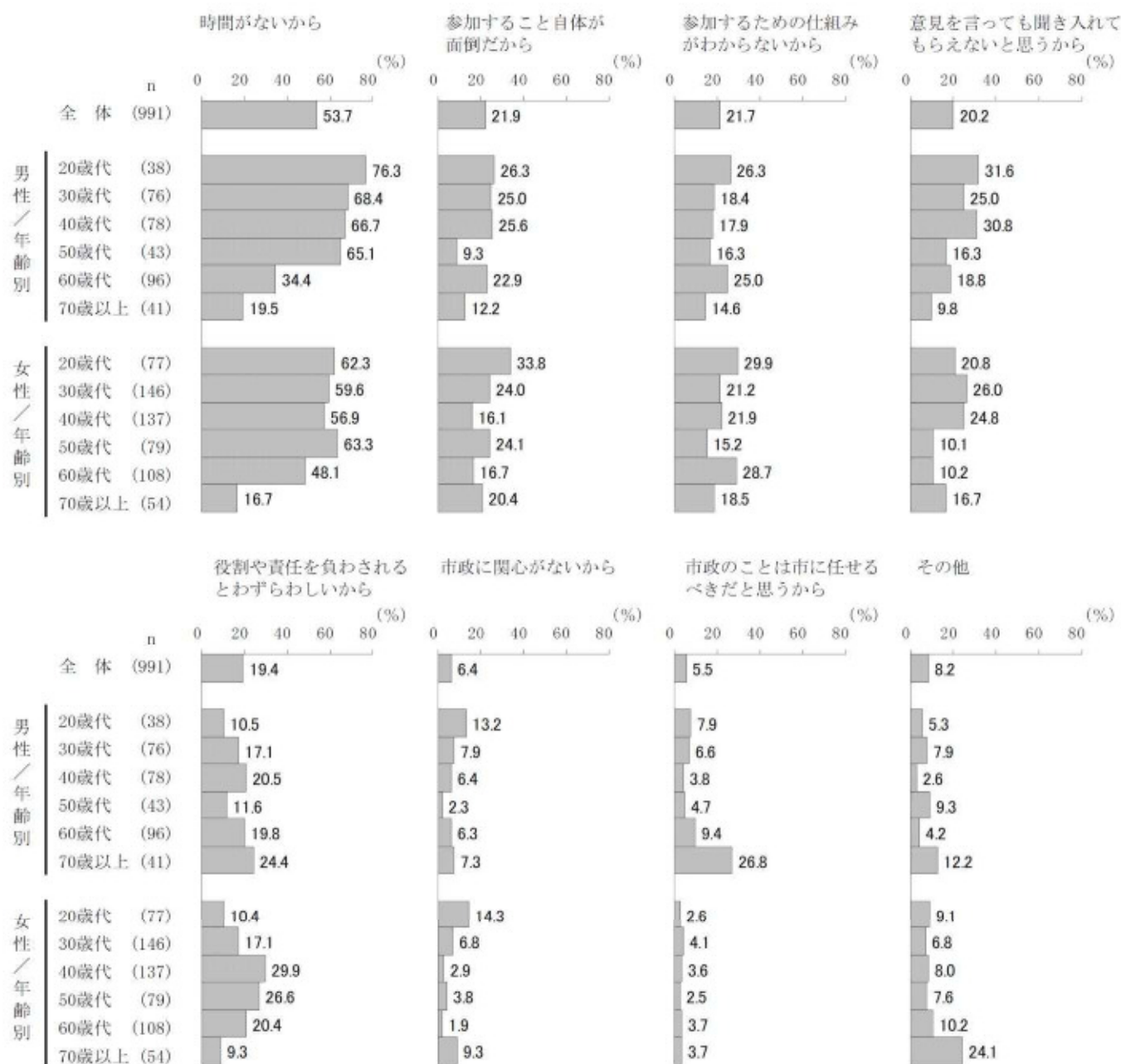
図表 5-14 市政に参加したくない理由



市政に参加したくない理由については、「時間がないから」(53.7%)が唯一5割を超えて最も多くなっている。次いで、「参加すること自体が面倒だから」(21.9%)、「参加するための仕組みがわからないから」(21.7%)、「意見を言っても聞き入れてもらえないと思うから」(20.2%)、「役割や責任を負わされるとわずらわしいから」(19.4%)の順となっている。(図表 5-14)

図表5-15 市政に参加したくない理由（性／年齢別）

※「特に理由はない」を除く8項目



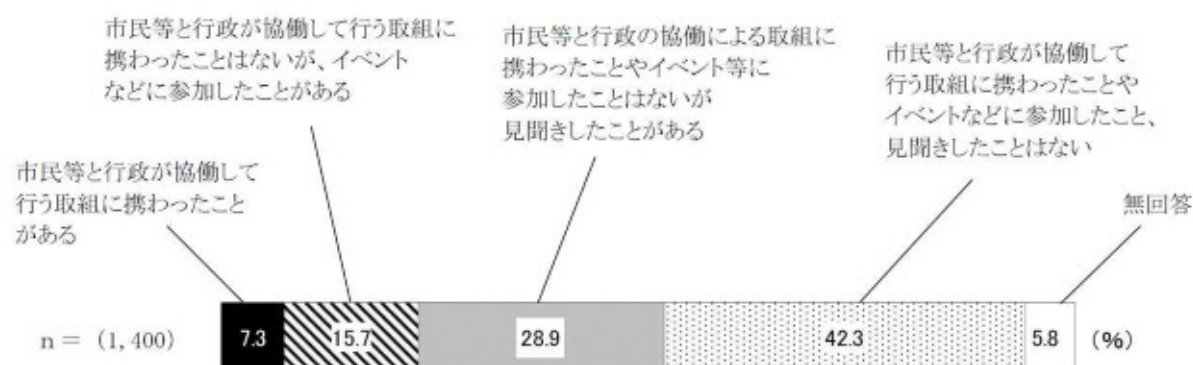
性／年齢別では、「時間がないから」は、男性では20歳代（76.3%）が最も多く、女性では50歳代（63.3%）が最も多くなっている。「参加すること自体が面倒だから」および「参加するための仕組みがわからないから」は、女性20歳代が最も多くなっている。「市政のことは市に任せるべきだと思うから」は、男性70歳以上（26.8%）が唯一2割を超えて、最も多くなっている。（図表5-15）

5-6 市民等と行政が協働して行う取組・イベントへの参加状況

◎「携わったことや参加したこと、見聞きしたことはない」が42.3%

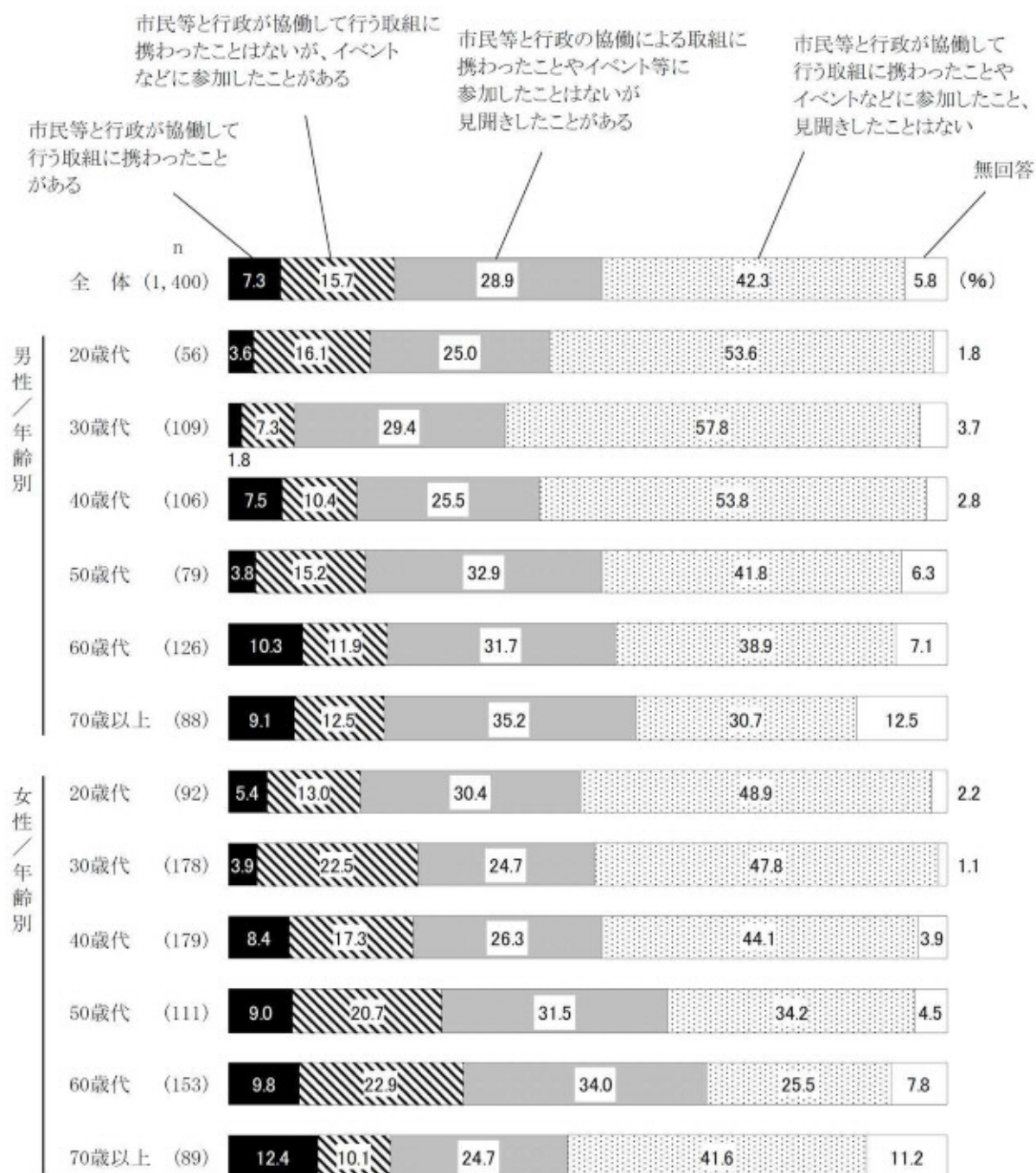
問13 川崎市内では、子育て支援、環境保全、文化など様々なまちづくりの分野で、町内会・自治会やボランティア団体などの市民活動団体、事業者、大学などと行政が協働して行う取組が行われています。あなたは、このような取組に携わったことや、イベントなどに参加したことがありますか。または、見聞きしたことがありますか。(○は1つだけ)

図表5-16 市民等と行政が協働して行う取組・イベントへの参加状況



市民等と行政が協働して行う取組・イベントへの参加状況については、「市民等と行政が協働して行う取組に携わったことやイベントなどに参加したこと、見聞きしたことはない」(42.3%)が最も多くなっている。次いで、「市民等と行政の協働による取組に携わったことやイベント等に参加したことはないが見聞きしたことがある」(28.9%)、「市民等と行政が協働して行う取組に携わったことはないが、イベントなどに参加したことがある」(15.7%)、「市民等と行政が協働して行う取組に携わったことがある」(7.3%)の順となっている。(図表5-16)

図表 5-17 市民等と行政が協働して行う取組・イベントへの参加状況（性／年齢別）



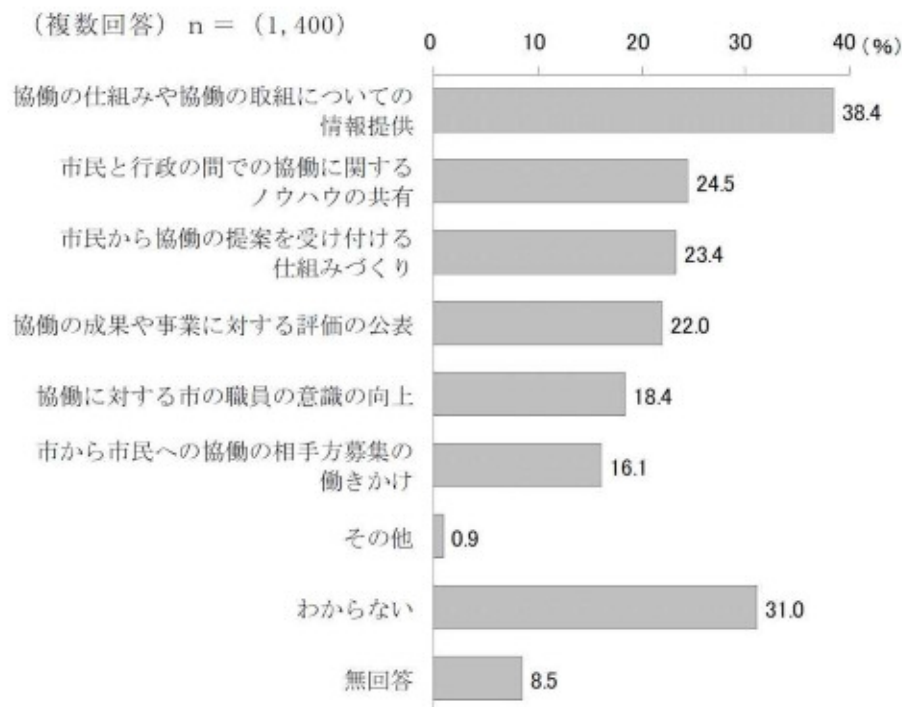
性・年齢別では、「市民等と行政が協働して行う取組に携わったことがある」は、男性では 60 歳代 (10.3%)、女性では 70 歳以上 (12.4%) が 1 割を超え最も多くなっている。「市民等と行政が協働して行う取組に携わったことはないが、イベントなどに参加したことがある」は、女性の 30 歳代 (22.5%)・50 歳代 (20.7%)・60 歳代 (22.9%) が最も多くなっている。「市民等と行政の協働による取組に携わったことやイベント等に参加したことはないが見聞きしたことがある」は、男性では 70 歳以上 (35.2%)、女性では 60 歳代 (34.0%) が 3 割台半ばで最も多くなっている。「市民等と行政が協働して行う取組に携わったことやイベントなどに参加したこと、見聞きしたことはない」は、男性の 20～40 歳代が 5 割を超え多くなっている。(図表 5-17)

5-7 市民と行政の協働推進のために進めていくとよいと思うこと

◎「協働の仕組みや協働の取組についての情報提供」が38.4%

問 14 市では、市民と行政が協働して行う取組を推進するため、市民活動団体と事業を行うにあたって尊重すべき6つの原則を定めた「協働型事業のルール」や、協働型事業の事例を集めた事例集の作成、協働に関する相談窓口（協働推進窓口）の開設などを行っています。今後さらに協働を推進していくためには、どのようなことを進めていくとよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

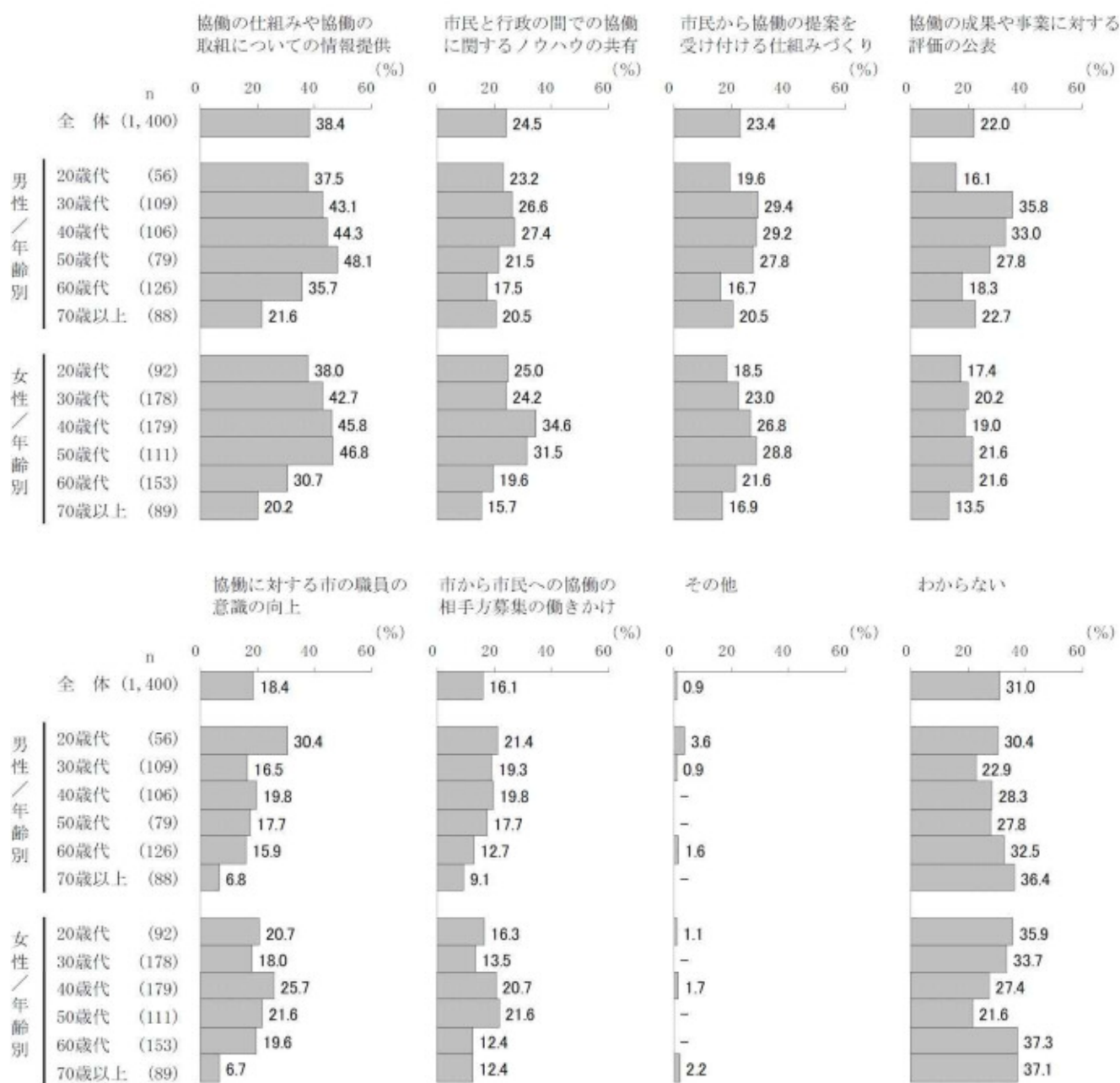
図表 5-18 市民と行政の協働推進のために進めていくとよいと思うこと



市民と行政の協働を推進するために進めていくとよいと思うことについては、「協働の仕組みや協働の取組についての情報提供」（38.4%）が3割を超え最も多くなっている。次いで、「市民と行政の間での協働に関するノウハウの共有」（24.5%）、「市民から協働の提案を受け付ける仕組みづくり」（23.4%）、「協働の成果や事業に対する評価の公表」（22.0%）が2割台で続いている。

（図表 5-18）

図表 5-19 市民と行政の協働推進のために進めていくとよいと思うこと（性／年齢別）



性／年齢別では、「協働の仕組みや協働の取組についての情報提供」は、男女ともに20歳代から50歳代にかけて多くなり、50歳代をピークに60歳代、70歳以上と少なくなっている。「市民と行政の間での協働に関するノウハウの共有」は、女性の30歳代(34.6%)・40歳代(31.5%)が3割を超え多くなっている。「市民から協働の提案を受け付ける仕組みづくり」および「協働の成果や事業に対する評価の公表」は、男性30歳代が最も多くなっている。(図表5-19)